



国際的な先駆者の連合 「Denim Deal」

オランダ・アムステルダム

概要

アムステルダム市は、公共機関や民間団体の関係者とともに、デニムのサプライチェーンをより持続可能なものにするを共同目標に掲げている。REFLOWプロジェクトに参加する中で、同市や関係者は、繊維製品の消費者による使用後のリサイクルを業界の標準とするために活動している40以上のパートナーからなる国際連合「The Denim Deal(デニム・ディール)」を結成した。

REFLOWとは

REFLOWは、2019年から2022年にかけて行われるEU Horizon 2020イノベーション・アクション・プロジェクトであり、欧州各地にある自治体、科学研究機関、技術プロバイダー、デザイン団体や草の根組織、中小企業を含む28のプロジェクトパートナーの専門知識を結集している。REFLOWプロジェクトは、生産の再局地化と異なるスケールでの物質の流れの再構成を通じて循環型・再生型の都市を開発することをビジョンとして掲げている。アムステルダム市は本プロジェクトでパイロットとなる6都市のうちの一つである。

「Denim Deal」の必要性

アムステルダム市は繊維と「デニムの街」として、地域レベルだけでなく全国・国際レベルでも循環型・持続可能な産業に向けて継続的に取り組んできた。繊維産業における単一のアクターでは、行動力の制限という障害に直面しており、サプライチェーン全体における循環型変化を妨げている。過去10年にわたる集中的な研究では業界のさまざまなパートナーに注目し、共同の循環型行動と包括的な持続可能性目標に貢献する可能性に焦点を当ててきた。



アムステルダム

人口: 82.2万人	面積 219.3 km ²
首長誓約 署名年: 2009年	CO ₂ 排出 削減目標: 2030年までに 55%削減

Denim Deal

2020年、アムステルダム市、アムステルダム経済委員会、インフラ・水管理省、ハーレム市とザーンスタッド市は、マルチステークホルダー・パートナーシップ「The Denim Deal」を発足させた。デニムブランド、政策立案者、リサイクル企業との協力のもと、3年間にわたる持続可能なデニム・イニシアチブが立ち上げられている。現在、バリューチェーンのあらゆる部分を代表する40以上のパートナーがDenim Dealに参加している。このイニシアチブにより、デニム製品のバリューチェーンと業界のプロセスを正確にモニタリングすることが可能になっている。2023年末までに消費者使用後の繊維を20%含むデニムジーンズを300万本生産することが目標として掲げられており、そこから先は、デニム業界の新しい業界標準となるようなパートナーシップを目指す。大量の使用後繊維商品を繊維構成と色に基づいて分別する自動選別機 Fibersort²の開発は、Denim Dealに貢献したマイルストーンである。このような細かい仕分けにより、価値の高いものを扱う繊維リサイクル業者がこれらの材料を一様な投入物として扱うことができる。

2 Fibersort <https://smartfibersorting.com/>

教訓

Denim Dealは、社会と環境の持続可能性を結びつけることで、業界の複数のアクターがチェーン全体に変化をもたらすことを実証している。この一步を踏み出すと、規模を拡大し新たなパートナーを獲得することが可能となっただけでなく、Denim Dealが持続可能な繊維産業のための青写真となり欧州各地の自治体の行動計画として機能するようになった。



主要
データ

生産するデニム1枚あたりリサイクル繊維
5%使用を目標

2023年までに
リサイクル繊維**20%**を含む
デニムジーンズ**300万枚**を生産予定

2030年までにCO₂排出量
240万t-CO₂t削減¹

1 [Nieuw Amsterdams Klimaat 2021](https://2021.klimaatrapportageamsterdam.nl/11/) —
Page 11
<https://2021.klimaatrapportageamsterdam.nl/11/>